

化学部会1/14 写真・デジカメ 1社

2009年の回顧

<前年比>

売上:減少

利益:減少

<その主なる背景は？>

(プラス要因)

+ 景気回復によるデジカメの
販売好調

(マイナス要因)

△ 年度前半の需要停滞

△ 上期の為替下落による
損失

△ 為替調整分を価格転嫁
できず

2010年の展望

<前年比>

売上:増加

利益:増加

<その主なる根拠は？>

(プラス要因)

+ 商品ラインアップ強化

+ 国内景気回復による需要
堅調

(マイナス要因)

△ 価格競争

化学部会2/14 筆記具 2社

2009年の回顧

<前年比>

売上:不変~減少

利益:減少

⇒予測通り~予測以下

<その主なる背景は?>

(プラス要因)

+無し

(マイナス要因)

△上期の景気悪化

△ST税の影響

△上期のリアル安で利益圧迫

2010年の展望

<前年比>

売上:増加

利益:増加

<その主なる根拠は?>

(プラス要因)

+景気回復

+農業等の第一次産品が好調⇒景気回復を後押し

+レアルの安定

(マイナス要因)

△無し

化学部会3/14 高級化粧品 1社

2009年の回顧

<前年比>

売上:増加

利益:やや減少

⇒予測通り

<その主なる背景は？>

(プラス要因)

+ 富裕層を対象とした価格であることから、売上への経済危機の影響はあまりなかった

(マイナス要因)

△ 競合他社の積極的なディスカウント戦略

△ 上期のレアル安

2010年の展望

<前年比>

売上:増加

利益:増加

<その主なる根拠は？>

(プラス要因)

+ 既存品育成策が順調に推移

+ 主要店での資生堂売上シェアがアップ

(マイナス要因)

△ 通関ストライキの可能性

△ ストに伴う商品の入荷遅れ/新製品の発売遅れの危惧

化学部会4/14 一般用医薬品 1社

2009年の回顧

<前年比>

売上:増加

利益:増加

⇒予測以上

<その主なる背景は？>

(プラス要因)

+市場拡大

+商品の浸透

(マイナス要因)

△特に無し

2010年の展望

<前年比>

売上:増加

利益:増加

<その主なる根拠は？>

(プラス要因)

+前年の好調さを維持

(マイナス要因)

△厚生省による法規制の強化

化学部会5/14 家庭防疫薬 1社

2009年の回顧

<前年比>

売上:減少

利益:大幅減少

⇒予測以下

<その主なる背景は？>

(プラス要因)

+新規顧客の開拓

(マイナス要因)

△大雨で蚊の発生少(中南部6州で売上の70%を占める)

△前年の販売減による在庫

△(デング熱の流行小)

2010年の展望

<前年比>

売上:増加

利益:増加

<その主なる根拠は？>

(プラス要因)

+新規顧客の本格参入

+中国製や亜国製輸入から
伯国製造へ移行(液剤・エアゾール)

+ノーデング熱の流行

(マイナス要因)

△移転価格税制

化学部会6/14 a.農薬～原体販売3社

2009年の回顧

<前年比>

売上:不変～減少～増加

利益:不変～減少～増加

⇒予測通り

<その主なる背景は？>

(プラス要因)

+経営資源の集中

(マイナス要因)

△対象作物作付面積の減少

△中国製違法品との競合

△経済危機の影響

2010年の展望

<前年比>

売上:減少～増加

利益:減少～増加

<その主なる根拠は？>

(プラス要因)

+対象作物面積の回復

+増員

+経済危機の回復

(マイナス要因)

△中国製違法品との競合

△ジェネリック製品との競合

△遺伝子組み換え作物の導入による
散布対象面積の減少

△移転価格税制

化学部会7/14 b.農薬～製剤販売1社

2009年の回顧

<前年比>

売上:増加

利益:増加

⇒予測以上

<その主なる背景は？>

(プラス要因)

+品揃えの拡充

+高い作物価格

+為替オペレーションの成功

(マイナス要因)

△不安定な為替

△主力作物の作付面積減

△業界平均マイナス5%~10%か

2010年の展望

<前年比>

売上:増加

利益:減少

<その主なる根拠は？>

(プラス要因)

+不安定な作物供給による価格
の高値推移

+為替の安定

(マイナス要因)

△リアル安傾向の兆し

化学部会8/14 肥料 1社

2009年の回顧

<前年比>

売上:減少

利益:減少

⇒予測以下

<その主なる背景は？>

(プラス要因)

+無し

(マイナス要因)

△国内需要の冷え込み、業界
全般の過剰在庫

△国際市況の乱高下

2010年の展望

<前年比>

売上:減少

利益:増加

<その主なる根拠は？>

(プラス要因)

+コスト削減効果

+需要の安定化

(マイナス要因)

△生産品目、規模縮小

化学部会9/14 種子(野菜・花)1社

2009年の回顧

<前年比>

売上:増加

利益:増加

⇒予測以上

<その主なる背景は?>

(プラス要因)

+新規商材の市場投入

+東北伯向けメロン種子売上増

+リアル高による在庫コスト減

(マイナス要因)

△主力商品の品薄

△世界規模気候変動による
生産減

2010年の展望

<前年比>

売上:増加

利益:不変

<その主なる根拠は?>

(プラス要因)

+新規商材の売上増

+既存商品の安定販売

+販路再編効果

(マイナス要因)

△試験農場運営費用の増加

△東北伯向けメロンは欧州市場
に依存

化学部会10/14 飼料添加物(鶏用)1社

2009年の回顧

<前年比>

売上:減少(15%)

利益:減少

⇒予測以下

<その主なる背景は?>

(プラス要因)

+無し

(マイナス要因)

△供給量の減少

△畜産品の値下がり

レアル高

△穀物飼料の値上がりで添加量減少

2010年の展望

<前年比>

売上:増加

利益:増加

<その主なる根拠は?>

(プラス要因)

+供給量の回復

+鶏卵需要のアップ(菓子向け/ワクチン向け)

(マイナス要因)

△移転価格税制(20%→35%)

化学部会11/14 接着剤 1社

2009年の回顧

<前年比>

売上:減少

利益:減少

⇒予測以下

<その主なる背景は?>

(プラス要因)

+無し

(マイナス要因)

△リーマンショックによる景気
後退

△原材料生産中止による代
替え品検索

2010年の展望

<前年比>

売上: 不変

利益: 不変

<その主なる根拠?>

(プラス要因)

+為替

(マイナス要因)

△安価品の参入

化学部会12/14 P樹脂用着色材 1社

2009年の回顧

<前年比>

売上:減少

利益:減少

⇒予測以下

<その主なる背景は？>

(プラス要因)

+下期におけるリアル高

+下期における需要回復

(マイナス要因)

△上期におけるリアル安による
輸入原材料のコストアップ

△上期における顧客の在庫圧縮

△競争激化による同業他社の売
価・加工賃引き下げ戦略

△顧客よりの値下げ要求圧力

2010年の展望

<前年比>

売上:増加

利益:増加

<その主なる根拠は？>

(プラス要因)

+内需の拡大

+輸送機器市場の拡大

+リストラによる効率化、コストダ
ウン

+赤字商いの見直し、粗利益管
理の徹底

(マイナス要因)

△為替動向(リアル安への不安)

△顧客よりの売価引下げの圧力

△同業他社の低価格戦略

化学部会13/14 ロジン(松脂)1社

2009年の回顧

<前年比>

売上: 微増

利益: 増加

⇒予測以上

<その主なる背景は?>

(プラス要因)

+原料価格安定⇒粗利率向上

(マイナス要因)

△競合他社の増加

△競争の激化

2010年の展望

<前年比>

売上: 増加

利益: 増加

<その主なる根拠は?>

(プラス要因)

+新製品の上市

+原料の代替によるコストダウン

(マイナス要因)

△為替の影響による輸出不振

△競合他社の台頭

化学部会 14/14 商社 1社

2009年の回顧

<前年比>

売上: 不変

利益: 不変

⇒予測通り

<その主なる背景は? >

(プラス要因)

+無し

(マイナス要因)

△リアル高

△需要減

△在庫調整

2010年の展望

<前年比>

売上: 増加

利益: 増加

<その主なる根拠は? >

(プラス要因)

+需要回復

+価格上昇

(マイナス要因)

△無し

化学品部会総数15社内1社3分野で 計17回答(14分野)

2009年の回顧総括

売上:増加 6/17
不変 3/17
減少 8/17

利益:増加 5/17
不変 2/17
減少 10/17

2010年の展望総括

売上:増加 14/17
不変 1/17
減少 2/17

利益: 増加 13/17
不変 2/17
減少 2/17

ブラジルの景気回復は本物か？

- 本物である……4社
- 国内消費が堅調
- 本物、しかし貧民層の購買力が向上しているのか疑問
- ペースは、昨年に比べて落ちても上昇傾向は続くのでは
- 実感として、わずかに景気は良くなって来ている
- 期待はできるが国内需要だけで磐石な景気回復を築けるのか、輸出の回復も重要
- 農産物に関しては、まだら模様と認識
- 09年末公布の移転価格税制の変更(20%→35%)は死活問題⇒景気回復に影響
- まだまだ様子見

総括:景気回復は、課題・疑問もあるが、本物では

死角は？

- 大統領選で金をばら撒き過ぎて負債が増える事
- 貧民格差を抱えての先進国化は可能なのか
- 大統領選挙による混乱と治安
- インフラの弱さとロジスティックコストの高さ
- インフラ整備の遅れと発電量不足、高速道路網／港湾設備等の問題が山積み⇒最終的に景気回復の足を引っ張る事を危惧
- 厳しい法規制
- 輸出競争力をどこまで維持できるか（為替、税制等）
- 為替動向
- 為替政策による輸入品の増加、国産品の輸出力低下
- レアル高による輸出産業への影響、中国品との価格競争

大統領・知事選挙の影響は？

- 影響なし/特に意識なし 4社
- 大勢に影響なし
- 誰が大統領になっても基本的な政策は変更できない⇒影響なし
- 誰が選ばれても特に大きな変化はなし⇒影響なし
- 政策によっては、一時的に良い影響が出るのではないか
- ドル高が進み在庫コスト高
- 債務救済の多発による回収遅延発生
- 選挙対策での大盤振る舞い⇒財政圧迫⇒企業への増税⇒コスト増⇒退散

総括:ドル高、債務救済の影響、各種選挙対策の悪影響/増税の危惧を指摘する声もあるが、過半数は、特に大きな影響はないと考えている